

図研エルミック株式会社 決算説明会

(東証第二部：コード4770)

2019年5月28日

代表取締役社長 朝倉 尉

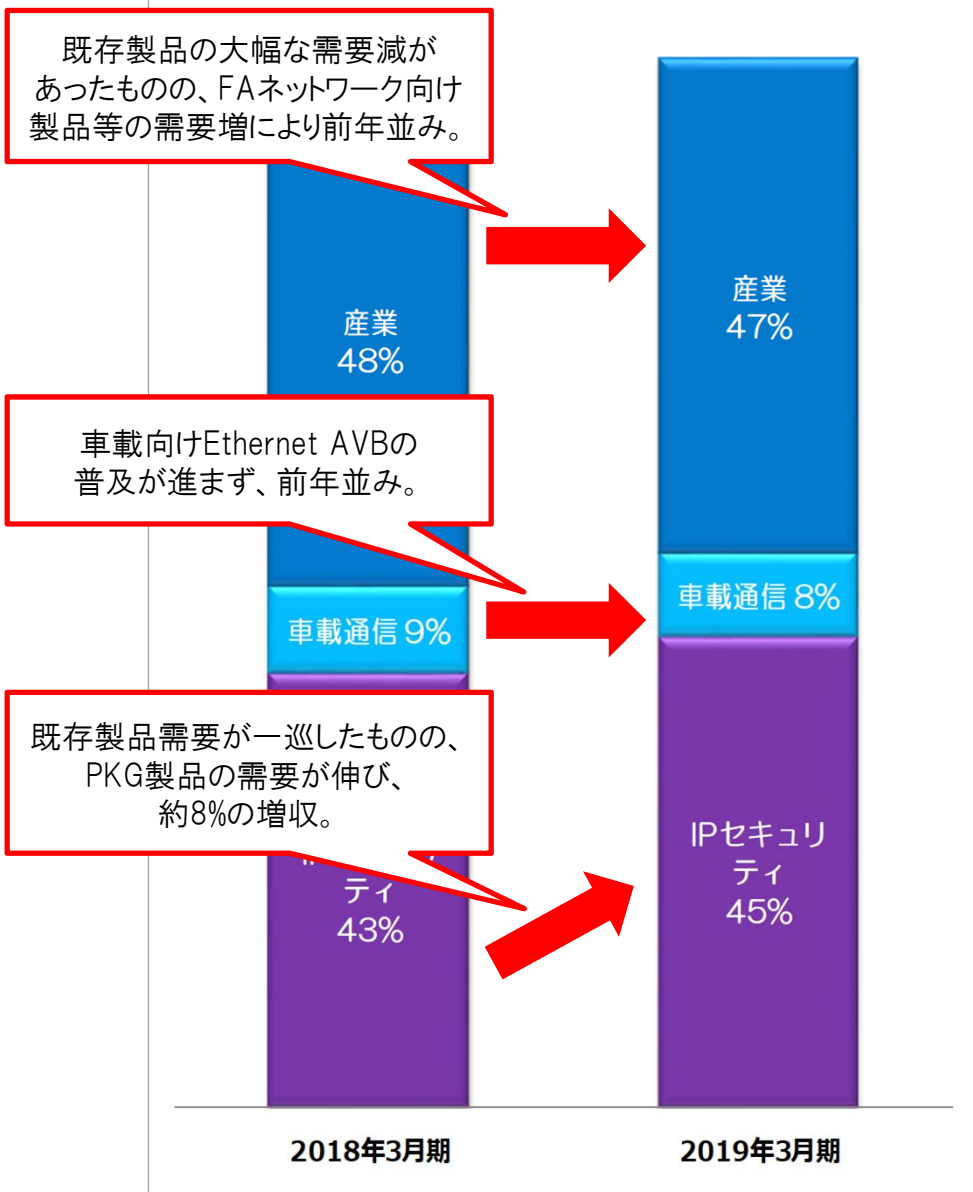


2019年3月期 業績概要

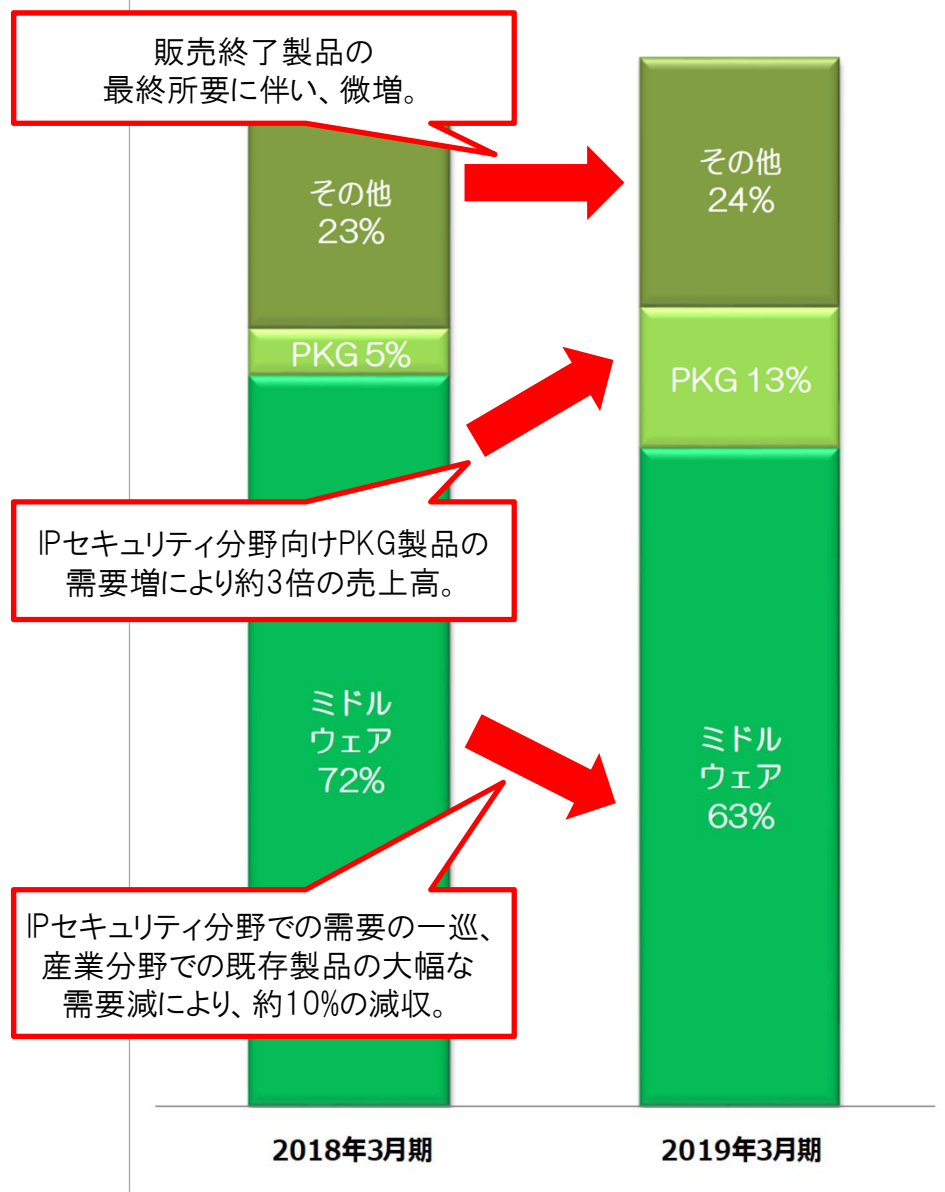
第42期 (単位:百万円)	上半期		下半期		通期	
	実績	前年同期 増減	実績	前年同期 増減	実績	前年同期 増減
受注高	393	+62	530	+122	923	+184
売上高	400	+30	462	▲1	863	+29
売上総利益	211	+26	235	+12	447	+38
販管費	197	▲5	202	+19	400	+14
営業利益	13	+31	33	▲6	47	+24
経常利益	13	+31	34	▲6	47	+25
当期純利益	9	+29	32	▲26	42	+3

- 第2四半期累計期間において、黒字転換を実現。
- 期初の売上予想には及ばなかったものの、若干の増収。
- パッケージ製品を中心に受注が増加。
- パッケージ製品を中心に利益率の高いビジネスを推進し、経常利益が増加。

ターゲット分野別 売上高比率

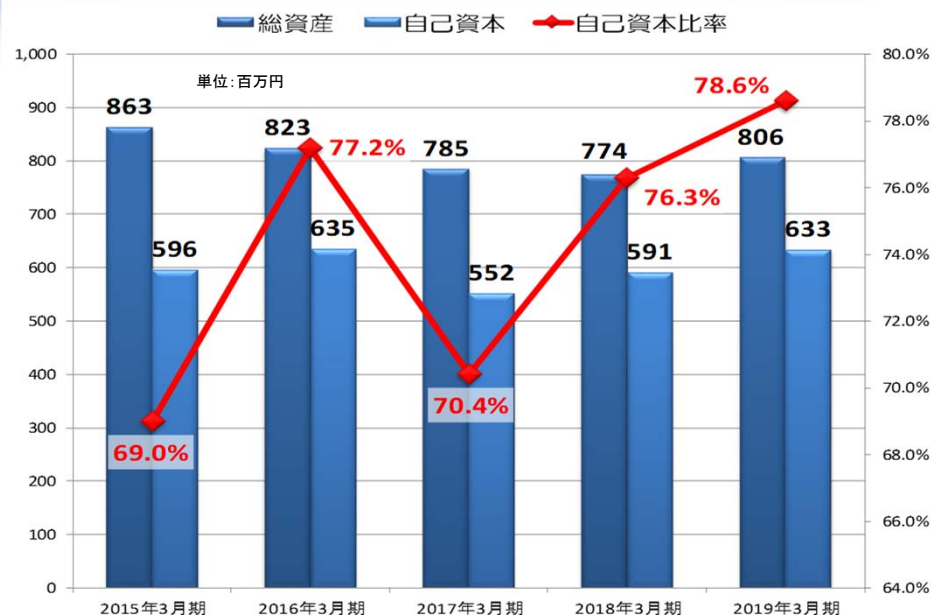


製品別 売上高比率



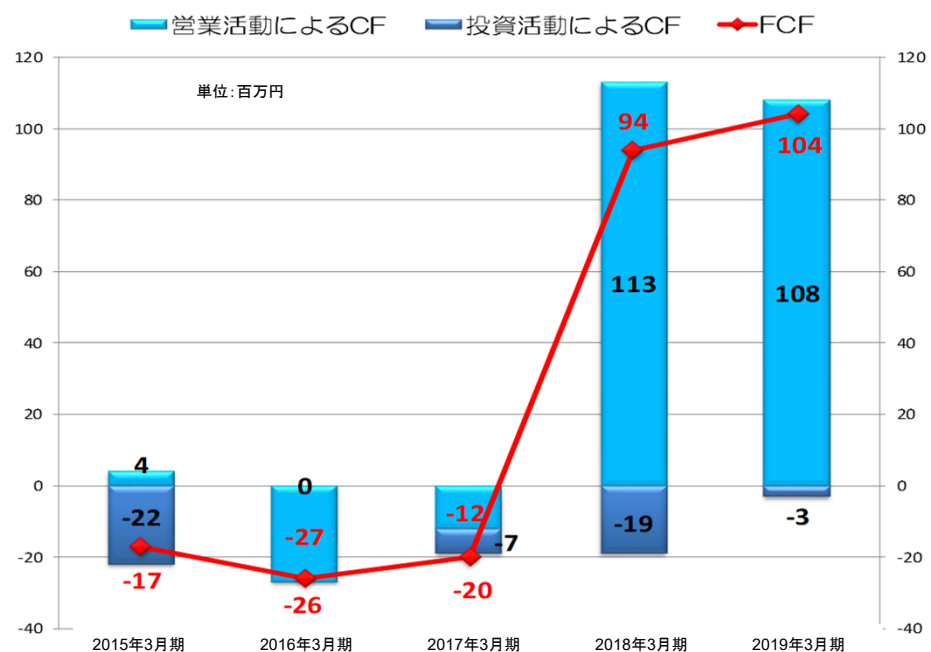
主要製品・技術の展開と分野	製品区分	主要製品	売上高 (単位: 百万円)			状況・課題
			2018年3月期	2019年3月期 期初予想	2019年3月期	
<p>車載分野</p> <ul style="list-style-type: none"> TSN AVB TCP/IP <p>産業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> CC-Link Next IE Safety Next <p>FA Application PKG製品</p> <ul style="list-style-type: none"> FA PKG GateWay <p>映像 Streaming 製品</p> <ul style="list-style-type: none"> ONVIF Client PKG New PKG VPN他 	Ethernet 製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ KASAGO TCP/IP ・ Ze-PRO ECHO Lite ・ Ze-PRO AVB ・ Ze-PRO TSN (計画) 	834	1,010	863	<p>既存製品の需要が低迷し、期初予想と大きく乖離し、減収。</p> <p>車載向けEthernet AVBは、新機能を投入するも規格採用が進まず、前年並み。</p>
	FA Protocol 製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ze-PRO CC-Link IEF BASIC ・ Ze-PRO CC-Link IE Safety ・ Ze-PRO CC-Link IE TSN (開発中) 				<p>機能安全対応(Safety)の需要は確実ではあるが、想定より普及が進まず、期初予想と乖離。</p> <p>一方、FAネットワーク向け製品については、期初予想を上回り、増収。</p>
	FA Application PKG製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ チョコ停Finder ・ HS Finder 				<p>生産現場での映像活用ニーズは確実にあり、新製品を投入するも、顧客都合による商談遅延が発生し、期初予想と大きく乖離。</p>
	映像 Streaming 製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ze-PRO RTP/SRTTP ・ Ze-PRO MP4 Mux/Demux ・ Ze-PRO IPcam/IPmon (ONVIF) ・ Ze-PRO SCP ・ Ze-PRO NVR PKG (開発中) 				<p>既存顧客を中心に引き合いは堅調であり、SIerやアプリ開発者向けのPKG製品を積極的に展開した結果、増収。</p> <p>一方で、ONVIF関連 ミドルウェア製品の需要が一巡した影響で、新規顧客からの商談が伸びず、期初予想と乖離。</p>
撤退・衰退する既存ビジネス						<p>販売終了製品の最終所要が想定を上回り、期初予想を上回る実績。</p>

2019年3月期 財務ハイライト



現金及び預金が101百万円増・前払費用29百万円減・受取手形22百万円減・売掛金17百万円減したことにより**流動資産が32百万円増加**し、リース資産4百万円増・繰延税金資産3百万円増・ソフトウェア7百万円減したことにより**固定資産が1百万円減少**したため、**資産合計は8億6百万円**（31百万円増加）となりました。

また利益剰余金が42百万円増加したことにより、**純資産合計は6億33百万円**となり、自己資本比率も約78%となりました。



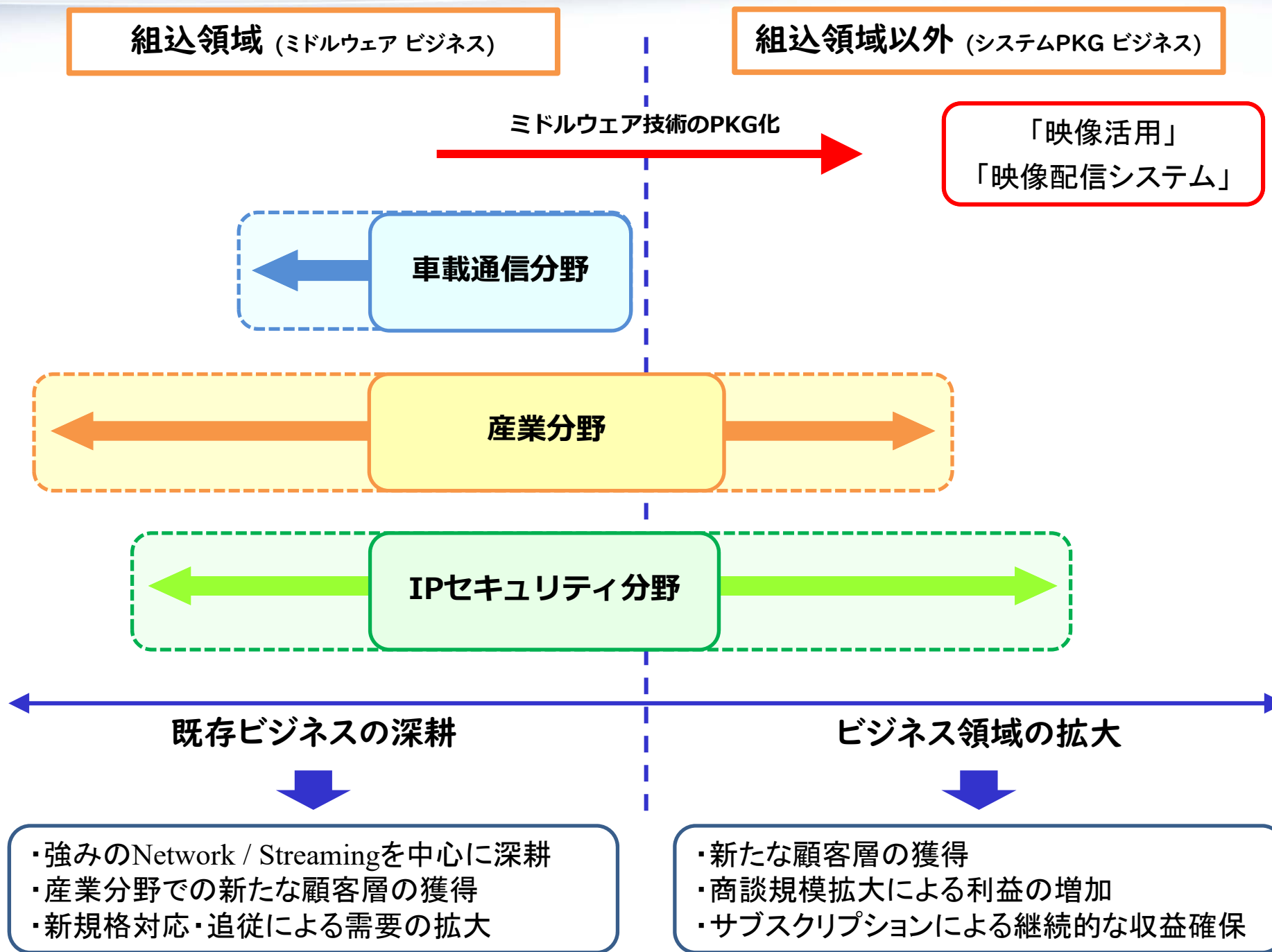
前受収益の減少37百万円があったものの、税金引前当期純利益47百万円、売上債権の減少38百万円、前払費用の減少29百万円、減価償却費16百万円等により、**営業活動の結果得られた資金は1億8百万円**となりました。

またフリーキャッシュフローは104百万円の増加となりました。

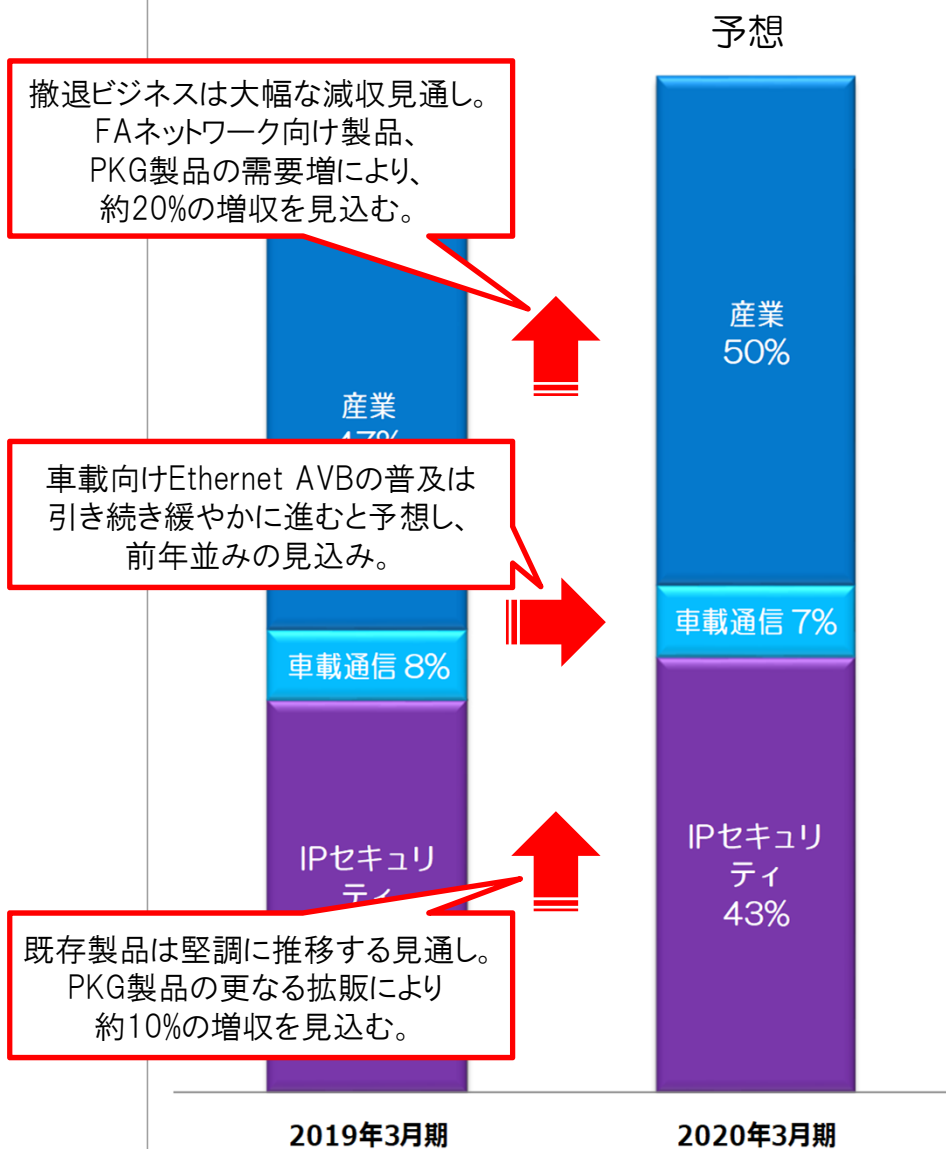
2020年3月期 業績予想と重点取り組み

第43期 (単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	
	実績	予想	前年同期増減
売上高	863	1,000	+137
営業利益	47	60	+13
経常利益	47	60	+13
当期純利益	42	50	+8

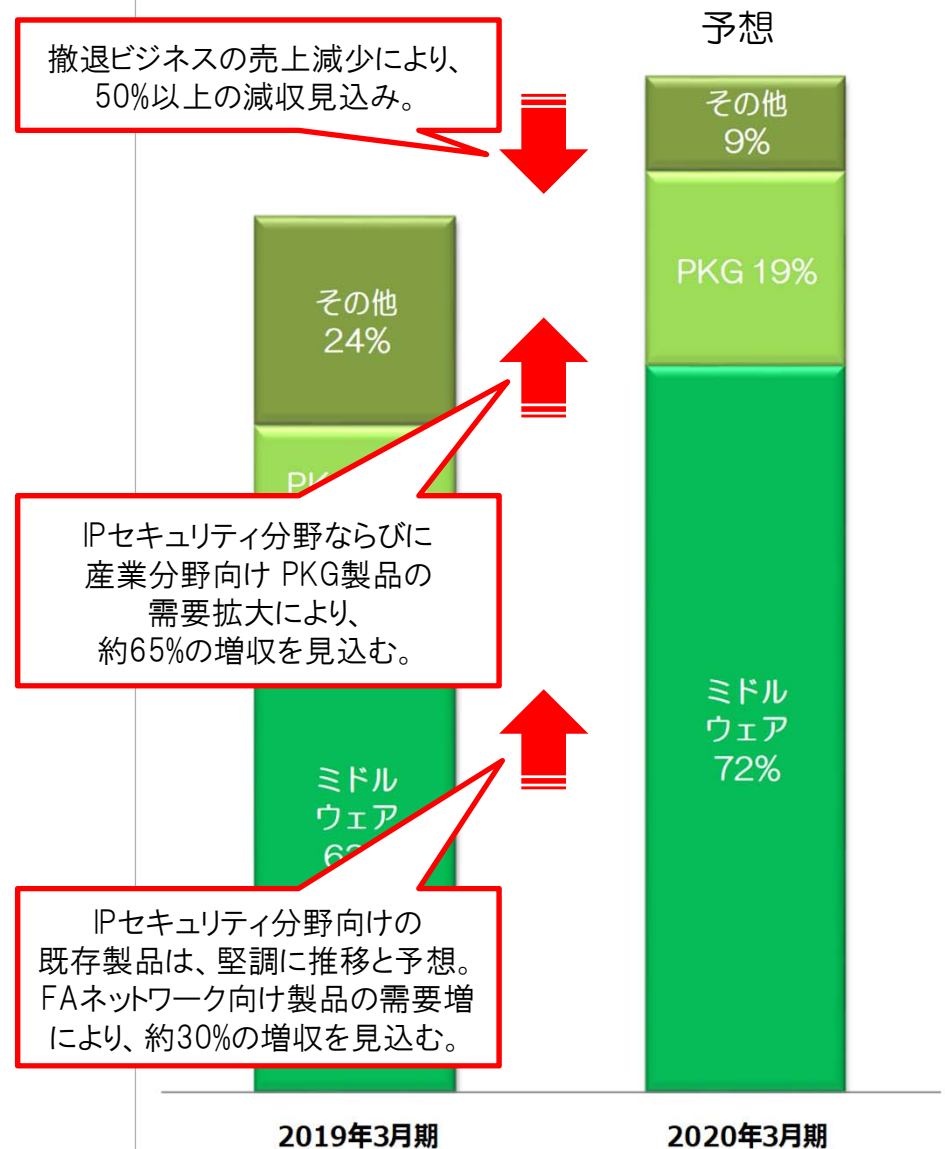
- 売上高10億円を確実に実現し、増収増益を見込む。
- FA Protocol製品の新製品を投入し、産業分野での更なる業績拡大に取り組む。
- IPセキュリティ分野において、新パッケージ製品を継続的に投入し、組込領域以外の顧客層の獲得、継続性のあるビジネスの拡大に取り組む。
- 産業分野において、新パッケージ製品を継続的に投入し、組込領域以外の顧客層に向けたビジネスの拡大に取り組む。



ターゲット分野別 売上高比率



製品別 売上高比率

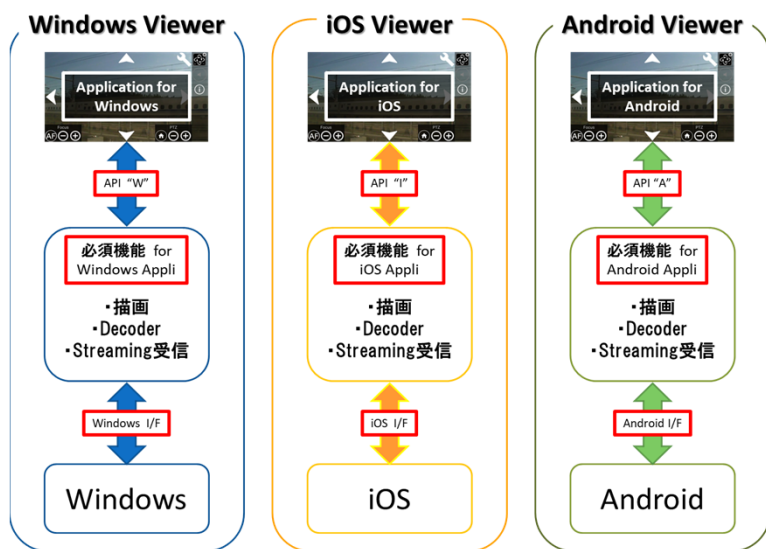


2020年3月期 業績予想と重点取り組み

主要製品・技術の展開と分野	製品区分	売上高 (単位: 百万円)		新製品 / 機能追加	重点取り組み
		2019年3月期	2020年3月期 (予想)		
<p>車載分野: AVB, TSN</p> <p>産業分野: TCP/IP, CC-Link, IE Safety, Next</p> <p>IPセキュリティ分野: ONVIF, Client PKG, New PKG, VPN他</p> <p>FA Application PKG製品: GateWay, FA PKG</p> <p>映像 Streaming 製品: Client PKG, New PKG</p>	Ethernet 製品	863	1,000	Ze-PRO TSN (計画) <i>New</i>	Ethernet AVBの普及は、引き続き緩やかに進むと予想するが、LSIベンダー各社との協業を通じた商談発掘に注力。また次世代規格 Ethernet TSNの製品化を推進。
	FA Protocol 製品			Ze-PRO CC-Link IE Safety (開発中) <i>Ver.Up</i> Ze-PRO CC-Link IE TSN Safety (計画) <i>New</i> Ze-PRO CC-Link IE TSN Remote (開発中) <i>New</i> Ze-PRO CC-Link IE TSN Master (開発中) <i>New</i>	機能安全対応(Safety)の需要は、更に増加すると予想し、拡販活動を強化。 CC-Link IE TSNを実現する新製品を投入し、新規格対応の製品開発需要を一気に取り込む。
	FA Application PKG製品			State Detect Finder (開発中) <i>New</i> Multi Monitoring Finder (計画) <i>New</i>	パートナーとの協業による新PKG製品の継続投入とパートナーを通じた拡販を推進。
	映像 Streaming 製品			Ze-PRO SRTP (開発中) <i>Ver.Up</i> Ze-PRO IPmon Profile T (開発中) <i>New</i> Ze-PRO SCP Profile G/T (開発中) <i>Ver.Up</i> Ze-PRO NVR PKG (開発中) <i>New</i>	ONVIF規格への追従は継続し、既存顧客との継続取引を確実に推進。 PKG製品の拡充と拡販を実行し、商談の大規模化、継続性のあるBizの確立を推進。
	撤退・衰退する既存ビジネス				撤退および需要の自然減により大幅な減収見通し。

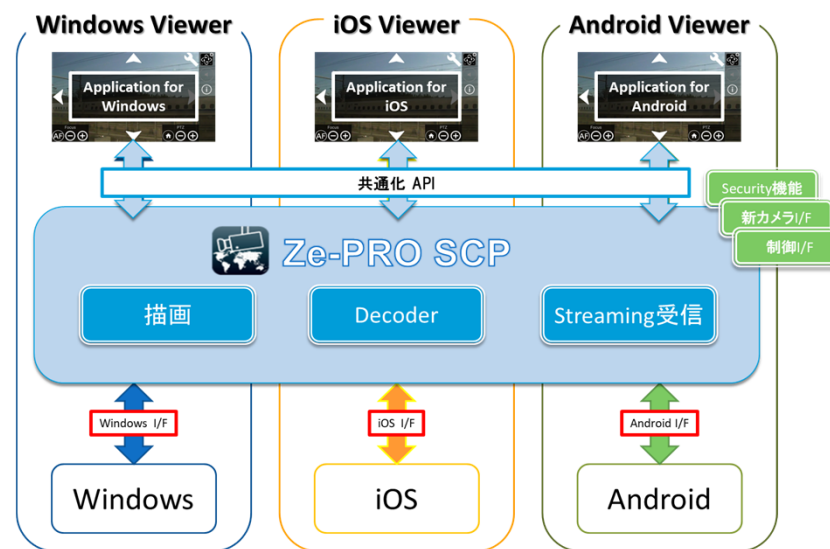
パッケージ製品の拡販：IPセキュリティ分野（組込領域以外）

現状のビューワ



- ブラウザーからアプリに切替が必要
- API・必須機能を共通化できず、開発/サポート工数増加
- OSのVerUPが頻繁で、追従に多大な時間と費用が必要
- 新規機能追加が容易にできない

Ze-PRO SCP

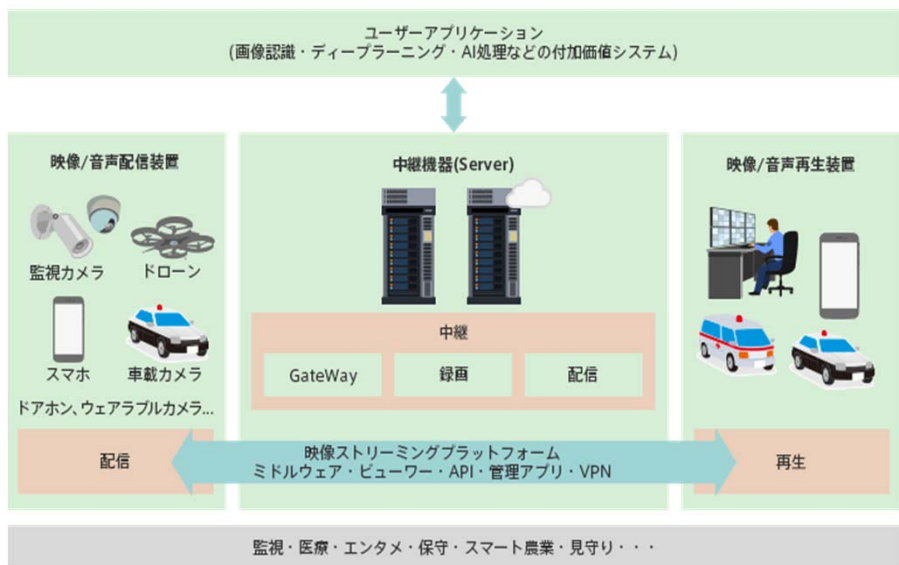


- APIを共通化。複数OS対応の開発期間と費用を削減
- 共通必須機能をPKG提供。開発期間と費用を大幅削減
- OSの違いをSCPが吸収。VerUP追従の時間と費用を解消
- 機能追加も容易。様々なViewerを短期間で展開可能

- アプリ開発（組込領域以外）への製品提供によるビジネス領域の拡大。
- サブスクリプション方式による継続的な収益源の確保。

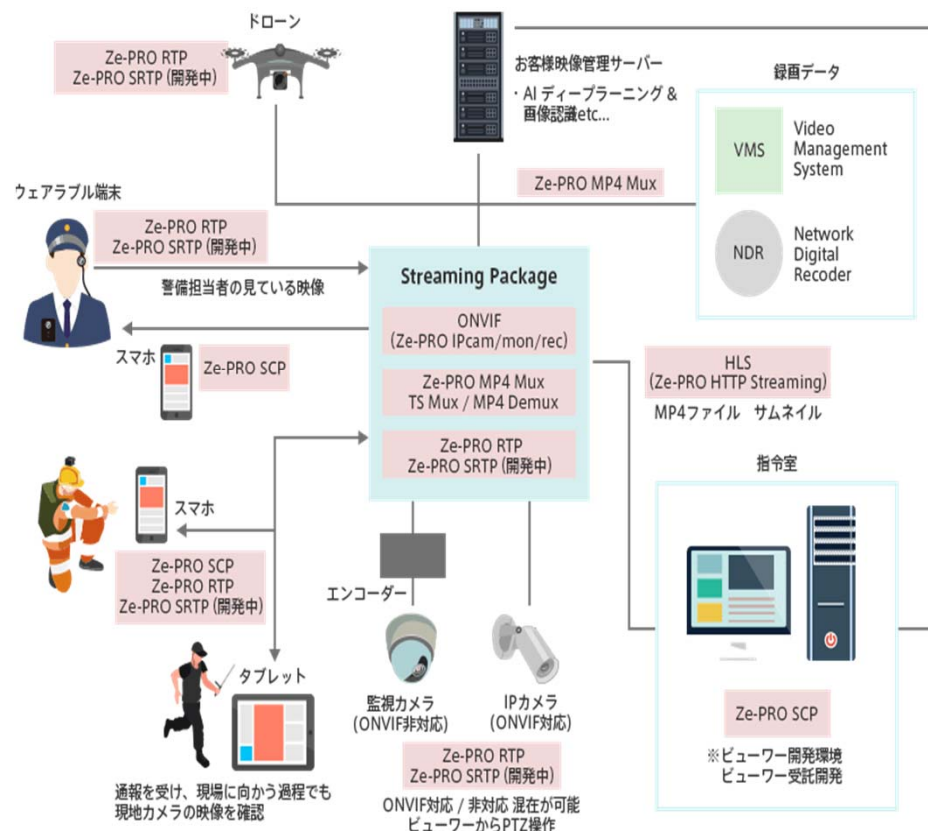
パッケージ製品の拡販：IPセキュリティ分野（組込領域以外）

Streaming Package



- ミドルウェア技術を組合せ、映像配信システムの基盤技術を提供
- Sler様など映像配信システム開発者に最適なソリューション
- 見守りシステム・警備システム・クラウドなど様々なシーンで活用可能。

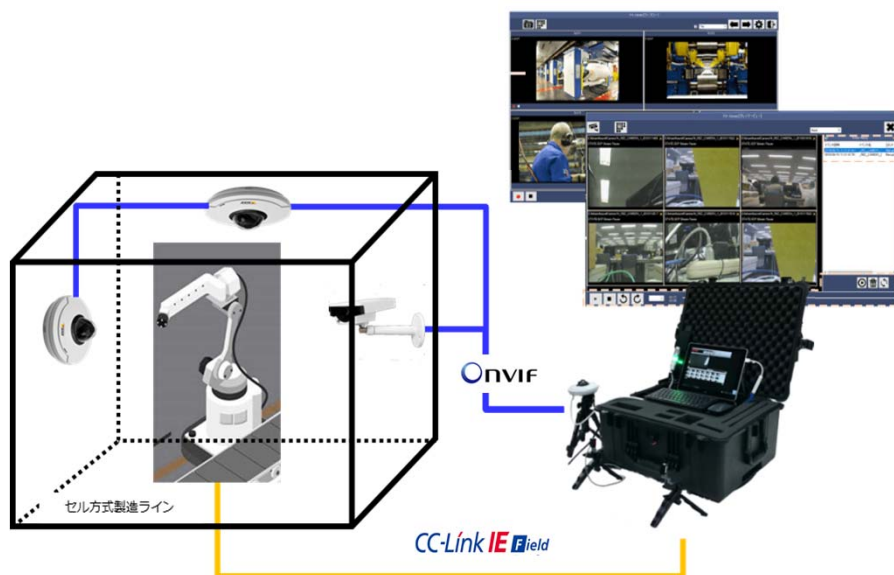
警備システムの例



- システム開発（組込領域以外）への製品提供によるビジネス領域の拡大。
- パッケージ化による製品単価アップ・商談規模の拡大による利益アップ。

パッケージ製品の拡販：産業分野（組込領域以外）

チョコ停Finder



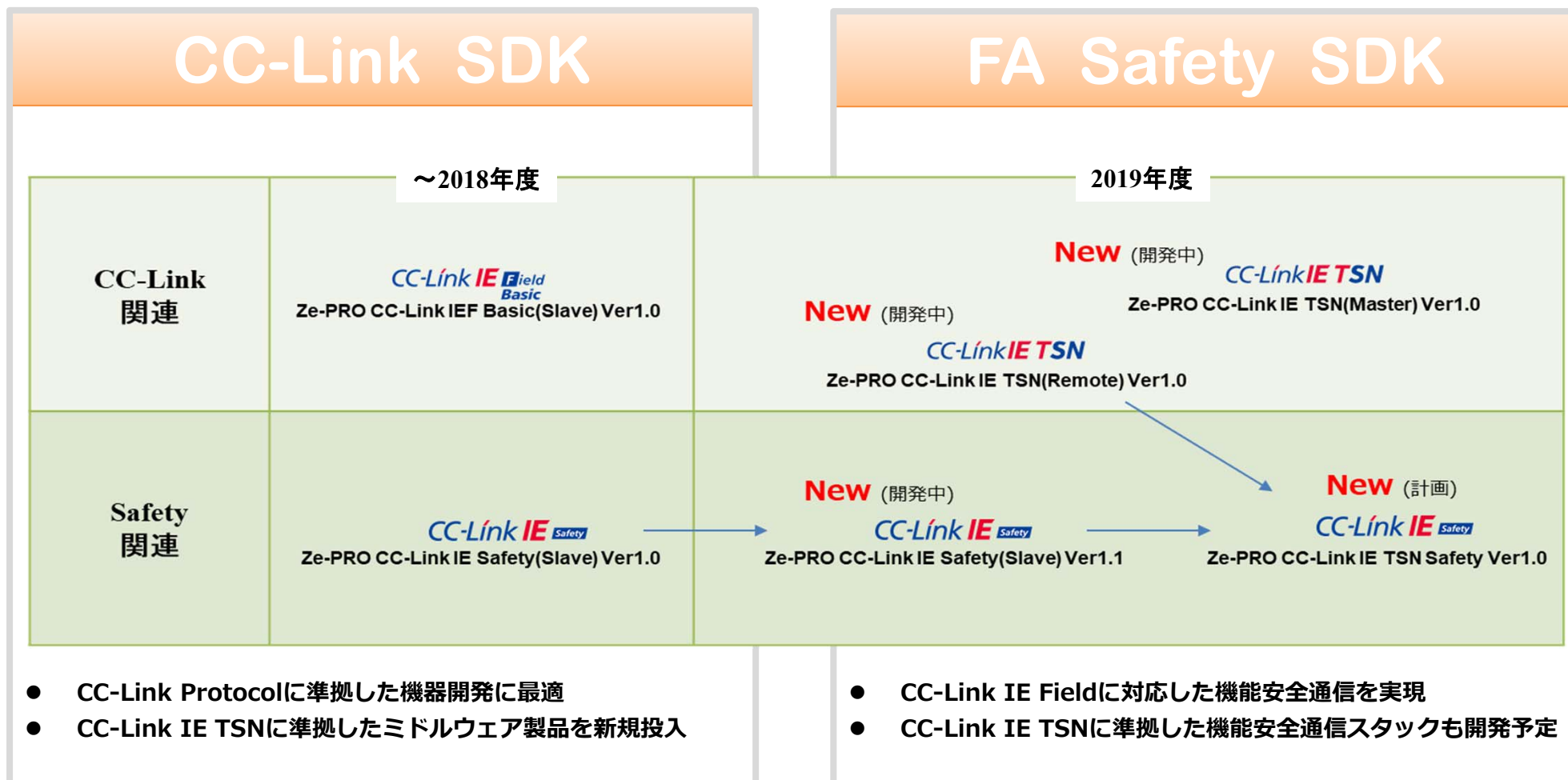
- FAネットワークと監視カメラネットワークを連携・連動
- 製造現場・生産現場における映像活用を加速
- 工場のIoT化のスムーズスタートをサポート

パートナー協業による新PKG開発と拡販



- 工場・製造現場（組込領域以外）への製品提供によるビジネス領域の拡大。
- パートナー協業による新パッケージ製品開発と商談発掘機会の拡大。

FA Protocol製品の拡販：産業分野（組込領域）



- FAネットワーク向け製品を拡充し、産業分野でのビジネスを拡大。
- 新規格CC-Link IE TSN準拠製品をいち早く投入し、需要を一気に取り込む。

- ご注意 -

本プレゼンテーション資料および図研エルミック代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。